

シラバス

2025年度版



鍼灸マッサージ東洋医療科 2年A組

学校法人 赤門宏志学院

仙台赤門医療専門学校

2025年度 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	阿部 康一	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	心理学	曜日・時間	月曜日 9:00～

【授業概要・目標】 捉えどころのない「心」の起源を多角的に検討、人の表現型としての行動や能力などから「心」の概念を理解できるよう教授し、医療現場における人間関係及び患者理解の一翼を担える資質の定着を目指す。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	心理学は科学か似而非科学か
2	人類史からみた心の起源
3	脳の局在機能と心との関係
4	脳と感覚知覚の関係
5	Personality研究の歴史的変遷
6	Personalityの捉え方と分析方法
7	Personality検査の妥当性と信頼性
8	Personality検査testの実際
9	知的能力研究の暗黒の歴史
10	知能概念の不確定性と虚構
11	知的能力の発達と教育
12	知能測定(数値化)の曖昧さ
13	The Genius Factory(天才製造)
14	Epigenetics(遺伝環境論)
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	記憶研究の歴史と記憶術
2	記憶の過程と時間的変異
3	学習と行動形成の過程
4	学習と発達の関連性(発達再考)
5	学習研究と教育の不整合
6	非言語・言語Communication
7	対人Communication
8	対社会Communication
9	異常と正常の心的世界
10	Bernard・Cannon内部環境平衡論
11	Selye Stress学説と心身医学
12	心的異常と障害の症例
13	心的異常と障害の臨床的対応
14	心身医学と東洋医学の接点と展望
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	期末試験の結果により評定(欠席数を加味する)
授業の進め方	通常講義形式・検査テスト実施・実験・VTR視聴
注意 (学生に望むこと)	「人」を理解できる医療従事者になるという自覚をもって受講いただきたい。
テキスト・参考書	毎講義テキスト・資料をプリントにて配布・参考書不要

2025年度 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	浦山 きか	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	漢文学(半期)	曜日・時間	前期) 月曜日 10:40～

【授業概要・目標】

漢文を使って東アジアの伝統医学文献を読み解くことができるようになる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	授業概要とオリエンテーション
2	第1課～第5課のポイント
3	第6課とその読み方
4	『靈枢』の読み方(1)
5	『靈枢』の読み方(2)
6	本草書の歴史と読み方
7	東アジアの伝統的な医療倫理
8	『傷寒論』とその注釈
9	『千金方』とその注釈
10	『素問』の読み方
11	老年医学の展開
12	日本漢文と医書(1)
13	日本漢文と医書(2)
14	復習とまとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

評価方法	試験8割、提出物2割
授業の進め方	テキストを中心とし、基本的な伝統医学の古典を読むための知識を得てゆく。
注意 (学生に望むこと)	歴史的な文献を読み解く知識はよりよい治療に不可欠と考えられるため、ぜひ身につけていただきたい。
テキスト・参考書	浦山きか『漢文で読む『靈枢』』アルテミシア

2025年度 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	神成 有己 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	東洋療法診断法Ⅱ(半期)	曜日・時間	後期) 月曜日 10:40～

【授業概要・目標】

授業概要: 鍼灸マッサージの臨床において問診および診察(観察検査)を正しく行うことによって、適切な施術ができるようにすることを目的に学んでいく。

また、臨床において施術者患者関係が良好に形成されるように心がける。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	診断法総論 問診と医療面接
2	消化器系疾患の問診
3	消化器系疾患の診断法①
4	消化器系疾患の診断法②
5	呼吸・循環器系疾患の問診
6	呼吸・循環器系疾患の診断法①
7	呼吸・循環器系疾患の診断法②
8	神経系疾患の問診
9	神経系疾患の診断法①
10	神経系疾患の診断法②
11	全身症状の問診
12	全身症状の診断法①
13	全身症状の診断法②
14	トリガーポイント療法の臨床応用
◆	後期試験 (試験監督は専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験の結果をもってその学期の評価とする。
授業の進め方	テキストを基にプレゼンテーションで補足説明する形式で講義する。
注意 (学生に望むこと)	各疼痛の病態について理解したうえで授業に参加して欲しい。
テキスト・参考書	プリントを随時配布する。

2025年度 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	専任教員 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	臨床実習Ⅱ	曜日・時間	月・金曜日 3・4時限(前期)

【授業概要・目標】
 ①患者と適切なコミュニケーションがとれる。②施術準備ができる。③基本的な事項について診療録に記載ができる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習前授業(Ⅰ)
2	臨床実習前授業(Ⅱ)
3	臨床実習(1)
4	臨床実習(2)
5	臨床実習(3)
6	臨床実習(4)
7	臨床実習(5)
8	臨床実習(6)
9	臨床実習(7)
10	臨床実習(8)
11	臨床実習(9)
12	臨床実習(10)
13	臨床実習(11)
14	臨床実習(12)
◆	—
15	臨床実習(13)

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習(14)
2	臨床実習(15)
3	臨床実習(16)
4	臨床実習(17)
5	臨床実習(18)
6	臨床実習(19)
7	臨床実習(20)
8	臨床実習(21)
9	臨床実習(22)
10	臨床実習(23)
11	—
12	—
13	—
14	—
◆	—
15	—

評価方法	知識の習得・身だしなみ・参加意欲などを総合的に評価する。
授業の進め方	臨床に必要な知識の習得、施術見学、環境整備、施術準備(補助)などを中心に行う。
注意 (学生に望むこと)	積極的に実習に参加してもらいたい。
テキスト・参考書	なし

2025年度 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	吉本 豊 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	運動学	曜日・時間	火曜日 9:00～

【授業概要・目標】 臨床の治療で必須となる、人の運動・動作を詳細に理解する為の基礎の知識を学びます。人体の解剖を詳細にイメージ化できる様になる為に、授業内容をシステム化してあります。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション 運動学1
2	運動学の基礎
3	姿勢とその異常
4	脳の解剖と機能
5	脳幹部の解剖 脊髄の解剖
6	反射とは？ 原始反射 etc
7	連合反応 フィードバック・フィードフォワード
8	中枢神経復習 身体各部の機能
9	肩部 肩甲骨 肩甲骨上腕リズム
10	前腕・手指の解剖と動き
11	骨盤 股関節の機能
12	膝関節の機能
13	足の機能口
14	歩行について
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	指・前腕の解剖1とその運動学
2	指・前腕の解剖学2
3	上腕・肩甲骨の筋肉 筋名と起始・停止
4	上腕・肩甲骨の筋肉 イメージ化
5	足部・下腿部の筋肉名 起始・停止部
6	足部・下腿部の筋肉名 イメージ化
7	臀部・大腿部の筋肉 名称と部位
8	臀部・大腿部の筋肉 イメージ化
9	腰部・腹部の筋肉名 名称と部位
10	腰部・腹部の筋肉 イメージ化
11	胸部・背部の筋肉名 名称と部位
12	胸部・背部の筋肉 イメージ化
13	頭頸部の筋肉 名称と部位
14	頭頸部の筋肉 イメージ化
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	記憶しているかどうかではなく、知識が使えるものになっているかどうかを見ます。
授業の進め方	予習・復讐で得た知識を毎回試します。
注意 (学生に望むこと)	将来の治療行為に向かったの実力を付けるという強い意志を持って臨んで下さい。
テキスト・参考書	リハビリテーション医学(運動学)

2025年度 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	今野 弘務 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年A組
科目名	鍼灸応用実技Ⅱ	曜日・時間	火曜日 10:40～

【授業概要・目標】

- ・代表的な体表指標がとれるようになる。
- ・要穴の正確な取穴ができるようになる。
- ・丁寧な刺鍼、施灸ができるようになる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	刺鍼・施灸の基本実技確認
2	体表指標の復習
3	体表指標の取り方と背部俞穴 ①
4	体表指標の取り方と背部俞穴 ②
5	体表指標の取り方と背部俞穴 ③
6	体表指標の取り方と背部俞穴 ④
7	体表指標の取り方と背部俞穴 ⑤
8	前期中間実技試験
9	原絡配穴法 ①
10	原絡配穴法 ②
11	原絡配穴法 ③
12	原絡配穴法 ④
13	原絡配穴法 ⑤
14	前期実技試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期実技試験の復習
2	鍼灸の補瀉説明と実技
3	難行六十九難の説明と実技
4	六十九難の取穴と施術 ①
5	六十九難の取穴と施術 ②
6	六十九難の取穴と施術 ③
7	六十九難の取穴と施術 ④
8	六十九難の取穴と施術 ⑤
9	六十九難の取穴と施術 ⑥
10	後期中間実技試験
11	五俞穴・五要穴の取穴と施術 ①
12	五俞穴・五要穴の取穴と施術 ②
13	五俞穴・五要穴の取穴と施術 ③
14	後期実技試験
15	評価点検

評価方法	前期：実技試験による、後期：実技試験による その他：出席状況、授業態度なども考慮する
授業の進め方	教科書・シラバスに基づいて進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある
注意 (学生に望むこと)	(1) 毎日、コツコツ練習をしてください。 (2) 態度・言葉遣い・白衣汚れ・身なりに気を付け、授業後は掃除をすること。
テキスト・参考書	『新版 経絡経穴概論』(医道の日本社)

2025年度 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	神成 有己 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	東洋医学各論 I	曜日・時間	火曜日 13:00～

【授業概要・目標】
五臓六腑の生理機能と相互関係への理解と東洋医学的観点から病に至るまでの変遷について理解する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	陰陽五行学説の復習
2	陰陽五行学説の復習
3	生体物質の復習
4	肝・胆の生理作用・病証①
5	肝・胆の生理作用・病証②
6	心・小腸の生理作用・病証①
7	心・小腸の生理作用・病証②
8	脾・胃の生理作用・病証①
9	脾・胃の生理作用・病証②
10	肺・大腸の生理作用・病証①
11	肺・大腸の生理作用・病証②
12	腎・膀胱の生理作用・病証①
13	腎・膀胱の生理作用・病証②
14	前期の復習・まとめ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	心・脾・肝の相互関係、 心・肺・脾の相互関係
2	肺・脾・腎の相互関係、 脾・肝・腎の相互関係
3	肺・脾・肝の相互関係、 心・脾・腎の相互関係
4	六腑の協調関係、全身の気機
5	病因病機
6	病因病機
7	伝変と波及
8	伝変と波及
9	八綱弁証
10	経脈弁証
11	経脈弁証
12	六経弁証
13	衛気営血弁証、三焦弁証
14	後期の復習・まとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験の点数
授業の進め方	板書、パワーポイント、配布資料にて進める。
注意 (学生に望むこと)	東洋医学への知識・興味が身に付き始めていると思う。積極的に授業に参加し、板書も記録しておくこと。プリントなどもなるべく失くさないこと。
テキスト・参考書	東洋医学概論

2025年度 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	高橋 はるか (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	臨床医学各論Ⅰ	曜日・時間	火曜日 14:40～

【授業概要・目標】 各疾患についての疫学、成因、症状などを学習する。
--

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	感染症Ⅰ
2	感染症Ⅱ
3	感染症Ⅲ
4	消化器疾患Ⅰ
5	消化器疾患Ⅱ
6	消化器疾患Ⅲ
7	消化器疾患Ⅳ
8	肝・胆・膵疾患Ⅰ
9	肝・胆・膵疾患Ⅱ
10	肝・胆・膵疾患Ⅲ
11	呼吸器疾患Ⅰ
12	呼吸器疾患Ⅱ
13	呼吸器疾患Ⅲ
14	前期復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	腎・泌尿器疾患Ⅰ
2	腎・泌尿器疾患Ⅱ
3	腎・泌尿器疾患Ⅲ
4	内分泌疾患Ⅰ
5	内分泌疾患Ⅱ
6	代謝・栄養疾患
7	循環器疾患Ⅰ
8	循環器疾患Ⅱ
9	循環器疾患Ⅲ
10	循環器疾患Ⅳ
11	血液・造血疾患Ⅰ
12	血液・造血疾患Ⅱ
13	血液・造血疾患Ⅲ
14	後期復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	筆記試験(小テスト50点＋期末テスト50点)
授業の進め方	板書・配布資料・教科書に基づいてプリントで進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある
注意 (学生に望むこと)	身体の構造と機能をもとに疾患の理解を深める
テキスト・参考書	テキスト:臨床医学各論 参考書:病気がみえる

2025年度 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	煙山 貴之 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	臨床医学総論	曜日・時間	水曜日 9:00～

【授業概要・目標】

東洋療法を实践するうえで必要な臨床医学全般についての知識を修得する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	診察の概要
3	医療面接
4	視診・触診・打診・聴診
5	生命徴候
6	全身の診察-1
7	全身の診察-2
8	全身の診察-3
9	局所の診察-1
10	局所の診察-2
11	局所の診察-3
12	神経系の診察-1
13	神経系の診察-2
14	神経系の診察-3
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	運動機能検査-1
2	運動機能検査-2
3	運動機能検査-3
4	女性・小児・高齢者の診察
5	臨床検査法-1
6	臨床検査法-2
7	おもな症状の診察法-1
8	おもな症状の診察法-2
9	おもな症状の診察法-3
10	おもな症状の診察法-4
11	おもな症状の診察法-5
12	おもな症状の診察法-6
13	治療学
14	臨床心理
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	筆記試験
授業の進め方	講義形式であるが、対話的に行う。
注意 (学生に望むこと)	解剖学・生理学を復習したうえで授業に臨む。
テキスト・参考書	臨床医学総論

2025年度 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	伊東 太郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	病理学概論	曜日・時間	水曜日 10:40～

【授業概要・目標】 (1) 病理学の基本の習得 (2) 生理学の復習

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	第1章 病理学とはどのような学問か
2	第2章 疾病についての基本的な考え方
3	第3章 病因 (1)
4	第3章 病因 (2)
5	第3章 病因 (3)
6	第3章 病因 (4)
7	第3章 病因 (5)
8	第3章 病因 (6)
9	第4章 循環障害 (1)
10	第4章 循環障害 (2)
11	第4章 循環障害 (3)
12	第5章 退行性病変 (1)
13	第5章 退行性病変 (2)
14	前期学習内容の復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価・点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	第6章 進行性病変 (1)
2	第6章 進行性病変 (2)
3	第7章 炎症 (1)
4	第7章 炎症 (2)
5	第7章 炎症 (3)
6	第8章 腫瘍 (1)
7	第8章 腫瘍 (2)
8	第8章 腫瘍 (3)
9	第8章 腫瘍 (4)
10	第8章 腫瘍 (5)
11	第9章 免疫異常・アレルギー (1)
12	第9章 免疫異常・アレルギー (2)
13	第10章 先天性異常
14	後期学習内容の復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価・点検

評価方法	小テスト等(50%)＋ 期末試験(50%)を総合して評価。
授業の進め方	・教科書の内容を中心にスライドで講義。 ・毎回の小テストで理解を深める。
注意 (学生に望むこと)	・A4ファイルを1冊用意すること。 ・分からないところはそのままにせず、調べてみる。
テキスト・参考書	『病理学概論』(東洋療法学校協会編)・配布プリント

2025年度 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	三保 翔平 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年A組
科目名	鍼灸応用実技 I	曜日・時間	水曜日 13:00～

【授業概要・目標】

現代医学的鍼灸臨床における主要疾患について、診断法と治療法を学ぶ。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	腰痛の主要疾患
2	腰痛の問診
3	腰痛の診察法
4	坐骨神経痛の主要疾患
5	坐骨神経痛の問診
6	坐骨神経痛の診察法
7	膝関節痛の主要疾患
8	膝関節痛の問診
9	膝関節痛の診察法
10	頸肩 upper limb 痛の主要疾患
11	頸肩 upper limb 痛の問診
12	頸肩 upper limb 痛の診察法
13	実技試験 前半
14	実技試験 後半
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	腰痛疾患への施術
2	腰痛疾患への施術
3	坐骨神経痛への施術
4	坐骨神経痛への施術
5	膝関節痛への施術
6	膝関節痛への施術
7	頸肩 upper limb 痛への施術
8	頸肩 upper limb 痛への施術
9	総合的な臨床施術
10	総合的な臨床施術
11	総合的な臨床施術
12	総合的な臨床施術
13	実技試験 前半
14	実技試験 後半
15	評価点検

評価方法	授業の実技の取り組む姿勢、定期試験。
授業の進め方	理論と実技を組み合わせる。
注意 (学生に望むこと)	授業時間外の練習。
テキスト・参考書	テキスト:『問診・診察ハンドブック』『新版 東洋医学臨床論』

2025年度 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	武藤 永治 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年A組
科目名	按摩マッサージ指圧応用実技Ⅱ	曜日・時間	水曜日 14:40～

【授業概要・目標】 マッサージの手技を的確にできるようにする。治療に必要なクリニカルマッサージ、スポーツマッサージ、他のマッサージを身につけて臨床治療に応用できるようにする。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	クリニカルマッサージ基礎
2	評価へのアプローチ
3	頭部・顔面部・頸部の治療法
4	肩部・胸部・上背部の治療法
5	上腕部、前腕部、手部の治療法
6	脊椎の治療法
7	腹部・腰部の治療法
8	骨盤部の治療法
9	大腿部の治療法
10	下腿部・足部の治療法
11	関節マッサージの基礎
12	肩関節・肘関節・手関節の治療法
13	股関節・膝関節・足関節の治療法
14	前期試験(実技試験)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	スポーツマッサージ基礎
2	基本テクニック
3	部位別マッサージ(1)
4	部位別マッサージ(2)
5	ブロック集中マッサージ(1)
6	ブロック集中マッサージ(2)
7	症状別マッサージ(1)
8	症状別マッサージ(2)
9	セルフケアマッサージ(1)
10	セルフケアマッサージ(2)
11	結合組織マッサージ基礎
12	結合組織マッサージ応用
13	骨膜マッサージ基礎と応用
14	後期試験(実技試験)
15	評価点検

評価方法	実技試験(65点以上 合格)
授業の進め方	ビデオ教材を見て練習して、知識・手技を学ぶ。
注意 (学生に望むこと)	クリニカルマッサージ・スポーツマッサージ等を身につけて、臨床治療に応用できるように練習する。
テキスト・参考書	クリニカルマッサージ(医道の日本社) スポーツマッサージ(西東社)

2025年度 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	三保 翔平 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	東洋療法診断法 I	曜日・時間	木曜日 9:00～

【授業概要・目標】 東洋医学の施術において必要となる診断法の習得。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	鍼灸臨床の流れ
2	基本的な問診の仕方
3	腰痛の主要疾患
4	腰痛の問診
5	腰痛の診察法
6	坐骨神経痛の主要疾患
7	坐骨神経痛の問診
8	坐骨神経痛の診察法
9	膝関節痛の主要疾患
10	膝関節痛の問診
11	膝関節痛の診察法
12	頸肩 upper 肢痛の主要疾患
13	頸肩 upper 肢痛の問診
14	頸肩 upper 肢痛の診察法
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	四診の概要、望診
2	舌診
3	聞診
4	問診(主訴の聴き方)
5	問診(寒熱)
6	問診(飲食・睡眠)
7	問診(飲食・睡眠)
8	問診(情志・生活環境)
9	問診(身体各部位の症状・汗)
10	問診(疼痛)
11	問診(女性・既往歴・家族歴・小児)
12	切診(反応・切経)
13	切診(腹診)
14	後期の復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験の点数
授業の進め方	板書、パワーポイントの活用
注意 (学生に望むこと)	板書の記録
テキスト・参考書	前期:問診・診察ハンドブック、後期:東洋医学概論

2025年度 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	柏倉 利一 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	臨床経穴論	曜日・時間	木曜日 10:40～

【授業概要・目標】

3年生の臨床に必要な経穴の情報を学び臨床の応用基礎知識の取得

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	年間スケジュール、五要穴について
2	五要穴・肺経、流注
3	五要穴・大腸経、流注
4	五要穴・胃経、流注
5	五要穴・脾経、流注
6	五要穴・心経、流注
7	五要穴・小腸経、流注
8	五要穴・膀胱経、流注
9	五要穴・腎経、流注
10	五要穴・心包経、流注
11	五要穴・三焦経、流注
12	五要穴・胆経、流注
13	五要穴、肝流注
14	任脈、流注
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	試験返却、質疑応答

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	督脈、流注
2	五行穴について
3	五行穴・肺経、大腸経
4	五行穴・胃経、脾経
5	五行穴・心経、小腸経
6	五行穴・膀胱経、腎経
7	五行穴・心包経、三焦経
8	五行穴・胆経、肝経
9	常用穴
10	常用穴
11	常用穴
12	常用穴
13	奇穴
14	奇穴
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	試験返却、質疑応答

評価方法	試験の評価だけでなく授業に対する意識も評価
授業の進め方	人数が少ないので質疑応答し必要な実技
注意 (学生に望むこと)	事前に予習を望む
テキスト・参考書	澤田流、長野式プリント

2025年度 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	佐藤 光恵 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年A組
科目名	按摩マッサージ指圧応用実技Ⅲ	曜日・時間	木曜日 13:00～

【授業概要・目標】
 指圧治療法で全身施術を習得できることを目標とする。
 反復して行うことで、全身施術できるという自信と、患者の状態にあった押圧を行えるようにする。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション、1学年復習
2	治療の流れ、施術上の注意
3	背部施術(伏臥位1～11)
4	前回の復習 肩背部施術(伏臥位12～15)
5	前回の復習、 頭頸部・上肢施術(伏臥位16～23)
6	前回の復習 頭頸部(仰臥位24～27)
7	前回の復習 頭頸部(仰臥位28～33)
8	前回の復習 上肢(仰臥位34～37)
9	前回の復習 下肢(仰臥位38～41)
10	前回の復習 腹部(仰臥位42、座位43)
11	前回の復習、 全身施術(時間計測)
12	全身施術(時間を計測)
13	実技試験・全身施術(時間を計測)
14	実技試験・全身施術(時間を計測)
15	評価点検・全身施術

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期復習・全身施術
2	背腰部施術(腹臥位)
3	前回復習 背腰部施術(腹臥位)
4	前回復習 下肢施術(腹臥位)
5	前回復習 上肢施術(仰臥位)
6	前回復習 上肢施術(仰臥位)
7	前回復習 下肢施術(仰臥位)
8	前回復習 下肢施術(仰臥位)
9	前回復習 頭頸部施術(座位)
10	前回復習 頭頸部施術(座位)
11	前回復習 座位移動の手順
12	全身施術(時間計測)
13	実技試験、全身施術(時間計測)
14	実技試験、全身施術(時間計測)
15	評価点検・後期復習

評価方法	実技試験、授業態度。
授業の進め方	プリントを使用し、部位ごとに反復して進めていく。
注意 (学生に望むこと)	反復練習に重点を行うため、術者役・患者役がコミュニケーションを取りながら授業中は無駄なく積極的に取り組むこと。
テキスト・参考書	プリント使用

2025年度 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	山田 秀一郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年A組
科目名	按摩マッサージ指圧応用実技Ⅰ	曜日・時間	木曜日 14:40～

【授業概要・目標】

腹部あん摩、伏・側臥位での施術ができるようになる。臨機応変に対処できるようになる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	一年時の復習(伏臥位後頸部より腰下肢までの流れ全体)
2	〃
3	腹部あん摩①
4	側臥位 肩背部施術(1)
5	肩こりに関する内容説明
6	伏臥位 肩背部施術
7	側臥位 上肢施術(2)
8	上腕痛に関する内容説明
9	側臥位 上肢施術 流注、取穴
10	側臥位 腰施術
11	腰痛に関する内容説明(3)
12	側臥位 腰施術 流注、取穴
13	伏臥位 腰施術・前期復習
14	実技試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	側臥位 下肢施術(4)
2	下肢痛に関する内容説明
3	側臥位 下肢施術 流注、取穴
4	側臥位 下腿施術(5)
5	側臥位 頸部施術
6	頸部疾患、症状の説明
7	側臥位 頸部施術 流注、取穴
8	側臥位 頭部施術(6)
9	頭部・症状疾患・流注、取穴と施術
10	全体復習(臨床応用)
11	〃
12	〃
13	〃
14	実技試験
15	評価点検

評価方法	授業(出席)態度、(施術姿勢、習熟度)、各試験での総合評価。
授業の進め方	臨床を目標に互いに施術役、受け役の状況にて見本手技の向上を図る。巡回しながら個々への指導。学生の理解度にて変更あり。
注意 (学生に望むこと)	実技が主となるため、積極的に復習し習得のための練習。
テキスト・参考書	あん摩マッサージ指圧実技(基礎編)、(東洋医学手技臨床論)、他プリント

2025年度 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	山内 明美	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	社会学(半期)	曜日・時間	前期) 金曜日 10:40～

【授業概要・目標】

現代社会で起きている多様な事象について、社会学理論を通じて、問題分析する方法を学ぶ。本講義で取り上げるテーマは、みなさんが社会生活を営んでいく上で直面する問題かもしれません。自分の内側に問いをもちつつ、積極的に参加してください。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	社会学とは何か？
2	世界と日本社会の「いま」①
3	世界と日本社会の「いま」②
4	グローバリゼーションとリスク社会①
5	グローバリゼーションとリスク社会②
6	家族社会学と〈子ども〉の誕生
7	権力とメディアの社会学
8	消費社会と情報の社会学
9	差別をめぐる社会学① レイシズム
10	差別をめぐる社会学② ジェノサイド
11	SOGIをめぐる社会学-性の多様性-①
12	SOGIをめぐる社会学-性の多様性-②
13	君たちはどう生きるか？
14	総論 近代社会を考える
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

評価方法	出席と学期末試験の成績で採点します。
授業の進め方	講義形式
注意 (学生に望むこと)	社会情勢が不安定で、先行き不透明な時代と言われています。社会的事象に興味を持って聴講してください。
テキスト・参考書	適宜指示します。

2025年度 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	専任教員 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	臨床実習Ⅲ	曜日・時間	月・金曜日 3・4時限(後期)

【授業概要・目標】

①患者と適切なコミュニケーションがとれる。②施術準備ができる。③基本的な事項について診療録に記載ができる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習前授業(Ⅰ)
2	臨床実習前授業(Ⅱ)
3	臨床実習(1)
4	臨床実習(2)
5	臨床実習(3)
6	臨床実習(4)
7	臨床実習(5)
8	臨床実習(6)
9	臨床実習(7)
10	臨床実習(8)
11	臨床実習(9)
12	臨床実習(10)
13	臨床実習(11)
14	臨床実習(12)
◆	—
15	臨床実習(13)

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習(14)
2	臨床実習(15)
3	臨床実習(16)
4	臨床実習(17)
5	臨床実習(18)
6	臨床実習(19)
7	臨床実習(20)
8	臨床実習(21)
9	臨床実習(22)
10	臨床実習(23)
11	—
12	—
13	—
14	—
◆	—
15	—

評価方法	知識の習得・身だしなみ・参加意欲などを総合的に評価する。
授業の進め方	臨床に必要な知識の習得、施術見学、環境整備、施術準備(補助)などを中心に行う。
注意 (学生に望むこと)	積極的に実習に参加してもらいたい。
テキスト・参考書	なし

科 目 名	学 年	授 業 時間数	教 員 名	実務 経験	業 務 内 容
運動学	2	60	吉本 豊	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
病理学概論	2	60	伊東 太郎	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
臨床医学総論	2	60	煙山 貴之	20年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
臨床医学各論Ⅰ	2	60	高橋 はるか	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋医学各論Ⅰ	2	60	神成 有己	5年以上	治療院で勤務した経験を持ち、現在も治療院で柔道整復、鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
臨床経穴論	2	60	柏倉 利一	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋療法診断法Ⅰ	2	60	三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋療法診断法Ⅱ	2	30	神成 有己	5年以上	治療院で勤務した経験を持ち、現在も治療院で柔道整復、鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧応用実技Ⅰ	2	60	山田 秀一郎	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
			柏倉 利一	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧応用実技Ⅱ	2	60	武藤 永治	30年以上	治療院を開業した経験を持つ。
按摩マッサージ指圧応用実技Ⅲ	2	60	佐藤 光恵	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸応用実技Ⅰ	2	60	三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
			吉本 豊	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
鍼灸応用実技Ⅱ	2	60	今野 弘務	10年以上	治療院に勤務した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸、柔道整復の臨床をおこなっている。
			古川 雄一郎	10年以上	治療院で勤務したを持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
臨床実習Ⅱ	2	45	長岡 靖彦	20年以上	病院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
			高橋 はるか	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
臨床実習Ⅲ	2	45	三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
			長岡 靖彦	20年以上	病院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
臨床医学各論Ⅱ	3	60	古川 雄一郎	10年以上	治療院で勤務したを持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
リハビリテーション医学	3	60	吉本 豊	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧理論	3	60	糟谷 俊彦	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸理論Ⅰ	3	60	渡部 正司	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸理論Ⅱ	3	30	伊東 太郎	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
東洋医学各論Ⅱ	3	60	浦山 久嗣	30年以上	治療院を開業した経験を持つ。
東洋医学臨床論Ⅰ	3	60	神成 有己	5年以上	治療院で勤務した経験を持ち、現在も治療院で柔道整復、鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋医学臨床論Ⅱ	3	60	川嶋 睦子	20年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋医学臨床論Ⅲ	3	60	塚本 直太	10年以上	治療院で勤務したを持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
東洋医学応用概論	3	60	伊東 太郎	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧臨床実技	3	60	宮田 正則	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸臨床実技Ⅰ	3	60	国分 壮一	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸臨床実技Ⅱ	3	60	渡部 正司	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
			塚本 直太	10年以上	治療院で勤務したを持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
鍼灸臨床実技Ⅲ	3	60	浦山 久嗣	30年以上	治療院を開業した経験を持つ。
			三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
臨床実習Ⅳ	3	45	高橋 武彦	20年以上	病院、治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で柔道整復の臨床をおこなっている。
			伊東 太郎	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
合計		1695			